

# 令和6年度 事業計画

## 1. はじめに

我が国は、少子高齢化が急速に進展し人口減少問題が深刻化してきているが、シルバー人材センター（以下「センター」という。）には、人生100年時代を迎え、誰もが生涯現役で活躍できる社会の実現が求められている。生き方や働き方が多様化する中、地域の日常に密着した就業機会を提供することで、高齢者の社会参加と生きがいの創出に取り組むことが重要である。

新型コロナウイルス感染症による混乱が一段落し、社会生活は賑わいを取り戻しつつあり、株式市場ではバブル期超えの最高値を更新するなど活況を呈している。しかしながら、未だ世界情勢は安定さを欠き、原材料価格や燃料価格の高騰をはじめとする急激な物価の上昇が、市民生活をはじめ市内経済に大きな影響を与えており、景気が良くなっているという実感がない。当センターでも会員数や契約件数が、減少するなどの影響が出ているがこの傾向が続くのでは、と懸念している。

このような状況の中、当センターが地域社会の需要を満たし、地域から頼りにされるセンターとして事業運営を展開していくには、組織の基盤である会員を増加させることが急務である。更に、地域の課題解決の担い手として存在感を発揮するためには、新規会員の獲得に努め、会員規模を拡大することが絶対条件であり、当センターにとって会員の確保と人材育成は喫緊の課題である。

当センターは、今年4月より配分金等の一部の改定を行う。このところ毎年のように発注者への負担増の改定を行っている。会員には、改めて「効率的な作業の徹底」と「質の向上」が求められる。また、今秋、施行が予定されている「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」（以下「フリーランス新法」という。）にも適切に対応していかなければならない。

安全・適正就業については、会員の高齢化が進んでいるが「自分の安全は、自分で守る」を各自が再認識し、また近年発生した案件をケーススタディとするなど安全就業の徹底に努めていく。

以上、当センターを取り巻く環境は厳しさが増しているが、このような状況を、今一度、役職員及び会員で認識し、理事長以下一丸となってこの難局を乗り越え、持続可能な運営体制を構築すべく、本計画に掲げる具体的な事業に取り組んでいく。

## 2. 基本方針

令和2年度に策定した「第2次中期基本計画（令和3年度～令和7年度）」で設定した重点項目と数値目標の達成に向け取り組むほか、時代に即した柔軟な対応ができる組織体制と規律ある財政運営を行う。

### ■ 第2次中期基本計画

<重点項目>

- (1) 会員数の拡大
- (2) 就業機会の拡大
- (3) 安全・適正就業の徹底
- (4) 持続可能な組織運営・財政基盤の確立
- (5) 地域貢献活動

〈数値目標〉

区 分	1年目 (R 3)	2年目 (R 4)	3年目 (R 5)	4年目 (R 6)	5年目 (R 7)
正会員数 (人)	172 (169)	174 (163)	176	178	180
粗入会率 (%)	1.33 (1.30)	1.34 (1.30)	1.36	1.37	1.40
就業実人員 (人)	155 (158)	157 (158)	159	161	162
就業率 (%)	90.0 (93.5)	90.0 (92.0)	90.0	90.0	90.0
受注件数 (件)	2,030 (1,865)	2,035 (1,831)	2,040	2,045	2,050
契約金額 (千円)	69,000 (56,218)	69,250 (58,059)	69,500	69,750	70,000

※下段 ( ) は実績

### 3. 事業実施計画（具体的施策）

#### （1）会員数の拡大

会員の拡大は、当センターの最重点項目である。最近の情勢として年金の支給年齢の引き上げと併せて、事業主に65歳までの雇用の確保が義務付けられたことに加え、新型コロナウイルスの5類移行後の労働力需要の高まりの影響もあり、新規会員の獲得に苦慮している。

会員の年齢構成は、70歳代が多くなってきている状況に変わりなくその世代の後半世代（75歳から79歳まで）が、会員総数の3分の1以上を占めている。また、女性会員は、男性会員の概ね半分でその占める割合が低い。

持続可能なセンターの運営体制を構築するには、60歳代の会員の確保と女性会員の獲得が急務であるという認識のもと、これまでの基本的な取り組みとともに課題解決に向けた取り組みを役職員・会員が一丸となって進めていかなければならない。

- 入会促進の取り組み
  - ・ 入会説明会の随時開催
  - ・ 会員の口コミによる勧誘
  - ・ ホームページの充実、市報への折り込みチラシ、イベント会場でのリーフレットの配布
  - ・ 市、商工会議所など関係団体等との連携強化
  - ・ 鳥取県シルバー人材センター連合会と連携した広報活動の実施
- 講習会等の実施
  - ・ センター主催の講習会のほか、鳥取県シルバー人材センター連合会と連携した講習会等の実施
- 女性会員入会の取り組み
  - ・ 女性会員の関心が高い分野の就業機会の確保

## (2) 就業機会の拡大

コロナ禍明けに伴う派遣分野などでの依頼は回復傾向にあるが、物価の高騰などの影響から請負分野での受注はやや伸び悩み傾向である。高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、会員の就業ニーズと地域企業等のニーズの把握、分析から自らの能力や希望に応じた就業機会を享受できるように取り組む。

- 会員、役職員による啓発活動の推進
  - ・ 各種イベント等でリーフレットを配布するほか、会員による口コミの実施
  - ・ 女性会員の関心が高い清掃、産後ケア事業などの職種の開拓
- 行政機関や事業所との連携強化
  - ・ 公共事業の受注の確保、拡大
  - ・ 派遣事業所等への訪問
  - ・ 人手不足分野の就業開拓
- ホームページの活用
  - ・ ホームページを活用したシルバー事業についての情報発信
- 広報活動の強化
  - ・ 市報への折り込みチラシ等
  - ・ 周知啓発用チラシの配架先の拡大
  - ・ 鳥取県シルバー人材センター連合会と連携した就業開拓や広報活動

## (3) 安全・適正就業の徹底

「安全はすべてに優先する」という基本をシルバー事業遂行の会員1人1人が再認識し、就業時等の事故防止を徹底し「安全で安心なシルバー事業」を展開していく必要がある。会員の安全意識の高揚と自分自身の健康管理の徹底を図り、傷害・損害賠償事故ゼロを目指す。

適正就業については、公益法人として法令遵守の立場から、会員の働き方に関する重要な指針である「適正就業ガイドライン」に基づき公平・公正に推進する。

- 安全・適正就業推進委員会の機能強化
  - ・ 安全・適正就業推進委員会を中心に安全対策や事故防止策、改善策を検討
  - ・ 事故事例の共有化
  - ・ 安全就業月間の設定や安全パトロールの実施
- 安全就業と健康管理
  - ・ 会員の健康診断の奨励
  - ・ 安全就業基準の遵守
  - ・ 新型コロナウイルス感染症5類移行後の適切な対策と対応の周知徹底（新）
  - ・ 熱中症予防の注意喚起
  - ・ 会員の安全意識の徹底
  - ・ 交通安全の徹底と飲酒運転根絶のためアルコール検知器等による確認（新）
  - ・ 道路交通法等の改正による交通安全への適切な対応とその徹底
  - ・ 市業務のうち通過交通の多い道路等の除草作業箇所の一部見直し
  - ・ その他（安全標語の募集、配分金明細書やチラシ等による啓発）
- 安全講習会等の実施
  - ・ 班会議で安全就業についての説明
  - ・ 鳥取県シルバー人材センター連合会と連携した安全講習会の実施

- 適正就業ガイドラインに沿った事業運営
  - ・ 適正就業ガイドラインを遵守し、会員、発注者に適正就業を周知
  - ・ 会員の適正就業への意識改革

#### (4) 持続可能な組織運営・財政基盤の確立

シルバー事業を取り巻く環境の課題が山積している中、センターの事業運営に支障をきたさないよう、状況に応じた組織体制の見直しをはじめ財政運営上の経営改善を進め、次の取り組みを通し持続可能な組織運営・財政基盤の確立に努める。

- 会員による事業運営の推進
  - ・ 会員の自主性、自発性による組織の運営や就業開拓
- 法改正等への適切な対応
  - ・ シルバー派遣事業など労働関係法令の適切な対応
  - ・ 消費税適格請求書保存方式（インボイス制度）の適切な対応と運用
  - ・ フリーランス新法の施行に伴う適切な対応（新）
- 補助金の確保・拡大
  - ・ 国、市に対し、補助金の継続的な確保・拡大を要望
- 事業量の確保
  - ・ 市、国、県、事業所等に事業量の確保・拡大を要望
- 自主財源の確保
  - ・ 就業機会の拡大や配分金の改定による事務手数料や派遣手数料の確保
  - ・ 事務費率の将来推計を含めた事務費規程の見直しの検討（新）
  - ・ 物品（材料品）の管理及びリース契約の再検討
  - ・ 組織体制の見直しや経費節減
- 未収金対策
  - ・ 未収金が生じないよう早めの対応
  - ・ 法的手続きの検討
- 職員の資質向上
  - ・ 職員の事務能力向上と意識改革
  - ・ チェック機能の強化と事務処理の効率化
  - ・ 簡素で効率的な事業運営の徹底

#### (5) 地域貢献活動

地域社会への貢献を通して、シルバー人材センター事業の普及啓発を図るとともに、高齢者が地域社会の一員として誇りを持ち、健康で生きがいのある生活を送れるよう、清掃作業などのボランティア活動を実施する。